

八戸

小原選手(八学大2年) 自転車学生日本一を報告

市長就任まで県自転車競技連盟会長を務めた熊谷市長は「前会長としても応援している」と小原選手にエールを送った。（三好陽介）

市長就任まで県自転車競技連盟会長を務めた熊谷市長は「前会長としても応援している」と小原選手にエールを送った。（三好陽介）

小原選手は「この1年間、どんな展開でも勝てるような練習をしてきた。その力を全て出せた」と勝因を分析し、優勝メダルとチャンピオンジャージーを披露。同席した三浦康嵩監督は「昨年から大学日本一を掲げてきたが、あくまでも通過点。日本代表入りが目標」と抱負を語った。

7月に静岡県で開かれた全日本学生自転車選手権と、9月に鹿児島県で開かれた全日本大学対抗自転車選手権（インカレ）で、それぞれ女子スプリントで優勝した八戸学院大学自転車競技部の小原乃亜選手（2年）がこのほど、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に大学日本一を報告した。



熊谷市長④と写真に納まる小原選手⑤、三浦監督